

調布警察署

署長 尾門 出 様

陳 情 書

件 名

「喜多見駅狛江市側改札口復活と喜多見駅周辺の交通安全対策のお願い」

に関する陳情書

令和 4 年 12 月 21 日

住 所 〒 201-0004

東京都狛江市岩戸北2-20-4

氏 名 喜多見駅狛江市側改札口復活を求める会会長
栄 通 り 商 店 街 会 長
栗山 健太郎

「喜多見駅狛江市側改札口復活と喜多見駅周辺の交通安全対策のお願い」に関する陳情書

一 陳情要旨

日頃私達の安心安全を守って下さる調布警察署へ感謝と敬意を申し上げます。
今回は、喜多見駅周辺の大型マンション建設による人口増加、調布都市計画道路3・4・16号線開通による交通量増加により、地域における交通安全、生活が脅かされております。
つきまして、調布警察署へ陳情、課題解決のご協力をお願いを申し上げます。
どうぞ宜しくお検討頂けます様お願い申し上げます。

二 陳情事項

1 喜多見駅狛江市側改札口復活へのご協力のお願い

岩戸北地区を中心に、狛江市は『人口増加』傾向にある。コロナ感染症拡大の影響で、若干の人口増加速度は減退しているが、大型マンション建設、農地の宅地化はしばらく続くことが見込まれている。さらに、調布都市計画道路3・4・16号線の開通により、道路環境が変わり、『交通量増加』による、駅高架下側道における自動車と自転車、自動車と人、人と自転車の『交通事故がここ数年増加』しており、救急車も呼ばれる大きな事故も毎年起き、喜多見駅周辺では、ここ数年『交通事故が絶えない危険な状況』が加速している。そのため、こうした交通事故を撲滅させるため、平成7年まで存在した『小田急線喜多見駅狛江市側改札口復活』をし、交通量の分散化を望む地域住民の声は年々大きくなっている。2年前狛江市と調布警察署合同視察でも、「改札口1か所の一極集中が問題だ」との見解を、当時の調布警察署交通規制係長様は見解を示している。つきましては、調布警察署へ、喜多見駅周辺の安心安全なまちづくりを確保するため、交通安全上、喜多見駅改札口設置への有効性に関する調査を行い、狛江市、小田急電鉄に対し、危険性を伝え、喜多見駅狛江市側改札口設置の必要性を伝えて頂きたい。また、狛江市へバスルートの見直しなどのアドバイスをして頂きたい。

2 宝島前交差点への信号機設置のお願い

調布都市計画道路3・4・16号線上に位置する狛江市岩戸北4-2-15 宝島前交差点への信号機設置を検討頂きたい。学校法人国本学園の児童生徒800人が利用する交差点で、大変危険状態が続き、拡幅後の交通安全を保つため、検討を強くお願いする。

3 防災公園設置協力をお願い

狛江市岩戸北地区において、防災公園が存在せず、防災拠点空白地帯として大変危惧されている。いざという震災の際に、地域住民、および都心からの避難者の為に、電力中央研究所、狛江市に対し、土地の提供を頂き、『防災公園設置』へのご協力を頂きたく申し入れている。調布警察署において、公園設置の必要性、入口などへのご指導をご検討をお願いしたい。

以上